

米日教育交流協議会代表 丹羽筆人

在米親子にアドバイス

日米の教育事情

～日本での夏休みの有効な過ごし方

子どもの状況に応じた計画を立てることが望ましい

間もなく3月になります
が、すでに夏休みの予定を
計画している方もおられる
と思います。まだまだ先で
はありますが、米国内で行
われるサマースクールやサ
マーキャンプなどの受け付

けも始まりつつあります。
米国の夏休みは長期にわた
るといふこともあり、どの
ように過ごすかは親御さん
にとって重要な事案です。
皆さんも日本での一時帰国
中の過ごし方も含めて計画
されておられることではし
ょう。

海外での生活が長い子ど
もに日本語を習得させたい
場合には、日本でできるだ
け長く滞在することをお勧
めします。ただし、親族の
家で過ごすだけではなく、
学校や地域のコミュニティ
などでより多くの人々と
接することが望ましいで
す。せつかく日本にいるの
ですから、より多くの日本
語に接する機会を持ちたい

ものです。

学校での体験入学はとて
も有意義ですが、授業内容
がある程度は理解できるこ
とが求められますし、日本
語でのコミュニケーション
ができないと子ども自身が
つらい思いをしてしまいま
す。地域のコミュニティ
は多数ありますが、海外の
子どもを受け入れてくれる
ところを探すのは大変で
す。米日教育交流協議会の
主催する「サマーキャンプ
inぎふ」では、楽しく通学
できる学校体験ができます
し、地域のコミュニティ
との交流も多数組み込んで
います。

一方、帰国を予定してい
る子どもにとっても、夏休
みに日本で過ごすことはと
ても大切な意味を持ちま
す。帰国後に入学する学校
の受験のために学習塾など
で集中的に勉強することも
できますし、入学を希望す
る学校の見学もできます。
学校見学は、その学校が自
分に合っているかどうかを
自分の目や耳で確認するた
めの絶好の機会です。学校
の特長を十分に理解し、入
試での面接で重要となる志
望理由を固めるためにも活
用しましょう。

最後に、来米間もない子
どもの場合には、最初の夏
休みは米国のサマースクー
ルやサマーキャンプを利用
することを勧めます。
英語に不慣れな子どもは夏
休みでも英語のシャワーを
浴びることが大切なので
す。(次回は3月23日号掲載)

米日教育交流協議会のウェブサ
イトにて、当コラムのバックナン
バーもお読みいただけます。
UJIEC Website: www.ujiec.org